

# EDIUS Elite/Pro 7

EDIT ANYTHING

## リリースノート

Software Version 7.31 (2014 年 5 月版)

## 機能追加

- SONY XAVC フォーマットファイルのエクスポートに対応しました。

## 更新履歴(不具合修正)

以下の不具合を修正しました。

- パーシャルレンダリングによる AVC-Intra 50 ファイルへのエクスポートを行うと、エクスポートファイルにビデオノイズが表示される。
- 1つの素材を分割してタイムラインに配置したものをグループ化しているプロジェクトをAAFへエクスポートすると正しくエクスポートされない。
- ソースブラウザ(K2(FTP))で、クリップの日付順による並べ替えができない。
- GXF エクスポート時、クローズドキャプションデータが正しく保持されない。
- Windows Media Video へのエクスポート時、フレームサイズを 320x240 に指定すると、16:9 に設定したアスペクト比が 4:3 に変更されてしまう。
- EDIUS 6 で作成したプロジェクトファイルを読み込むと、オフラインクリップの修復ができないことがある。
- EDIUS 5 で保存したプロジェクトを読み込むと、Disc Burner で設定した各種パラメータの内容が保持されない。
- 720x486 サイズへのダウンコンバージョンを伴う Windows Media Video へのエクスポートを行うと、EDIUS が強制終了する。
- 静止画連番のタイムラインクリップをプレーヤウィンドウにマウントすると EDIUS が強制終了する。
- タイムラインで複数クリップを選択、「選択クリップのレンダリング」を行うと、正しくレンダリングされない。
- EDIUS のプレーヤーへ時差編集クリップ (Growing File) をマウントし、再生すると、約 8 秒で再生が停止してしまう。

## 既知の不具合

### スタビライザーの解析がバックグラウンドジョブとして処理される

- |      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 現象   | スタビライザーの解析が常にバックグラウンドジョブとして処理される。 |
| 回避方法 | なし。                               |

### プロキシファイルを通常のクリップとして認識する

- |      |   |
|------|---|
| 現象   | Bin でクリップを選択、「プロキシを作成」にてプロキシを作成した場合、その素材を別プロジェクトで読み込むとプロキシファイルも通常のクリップとして同時に読み込まれる。 |
| 回避方法 | なし。   |